

だいせんの偉人先人たち

いけ だ ぶん た ろう 池 田 文 太 郎

【 分 類 】 せいじ のうぎよう きょういく
政治・農業・教育

【 生没年 】 1868年 ~ 1927年

(けいおう 慶応4年) (しょうわ 昭和2年)



文太郎は、とうほくさん だいじぬし東北三大地主と称された池田家の13代当主。明治35年に高梨村（現・大仙市高梨）たかなしむら村長となり、池田家の最盛期を築いた。特に、こうちせいりじぎょう耕地整理事業や農事改良にかいりょう尽くしたほか、しぎい とう私財を投じて地域のしゃかいふくし社会福祉や教育向上にきょういくこうじょう尽力したことで有名。その人柄からひとがら地元の人々から敬愛を受け、けいあい没後、高梨小学校前にぼつご銅像が建てられている。

出典 『大仙市どど〜んとまるごとふるさと探訪ポケットブックポケットマップ』2018、2019、大仙市教育委員会／編
『先人の歩み上』1979、大曲市仙北郡校長会／編